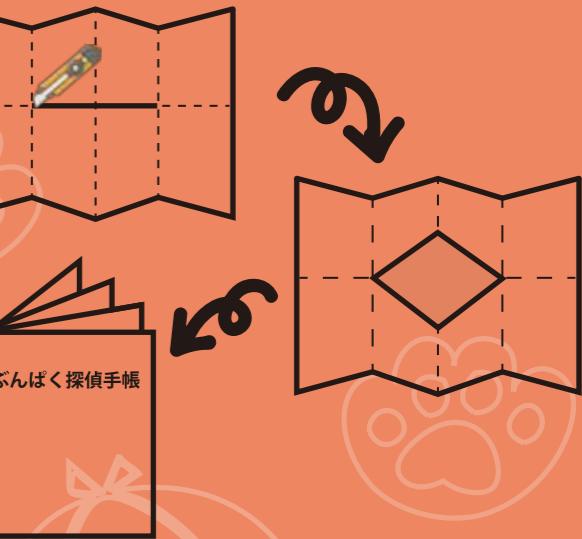


- 実線のところをカッターなどで切る。
- 点線のところを山折り、谷おりにする。
- ぶんぱく探偵手帳とある表紙を一番上にする。



# 京都文化博物館 別館ガイド



辰野金吾  
(1854~1919)

京都文化博物館の別館は明治39(1906)年に日本銀行の京都支店として建てられました。設計者は東京駅や日本銀行本店などをつくった辰野金吾と、その弟子長野宇平治です。彼の建築の特徴のひとつは、赤いレンガに帯状の白い花崗岩を巡らせることです。「辰野式」とよばれる建築様式は後の建築家にも大きな影響を与えたとされています。



長野宇平治  
(1867~1937)

## 別館のレンガを触ってみよう！



レンガとレンガの間に、かまぼこ状に盛り上がった継ぎ目があるのがわかるかな？

レンガを「かまぼこ状」に積み上げる技術（覆輪目地の工事をおこなう技術）は現代には伝承されておらず、明治時代の職人さんの技術の高さを知ることができるよ。

レンガの美しさが際立っているね！

## なぜ窓が落下しないのかな？どうなっているのかな？

窓を上げ下げしてみよう。途中で止まるね！

どういう仕組みになっているのかな？

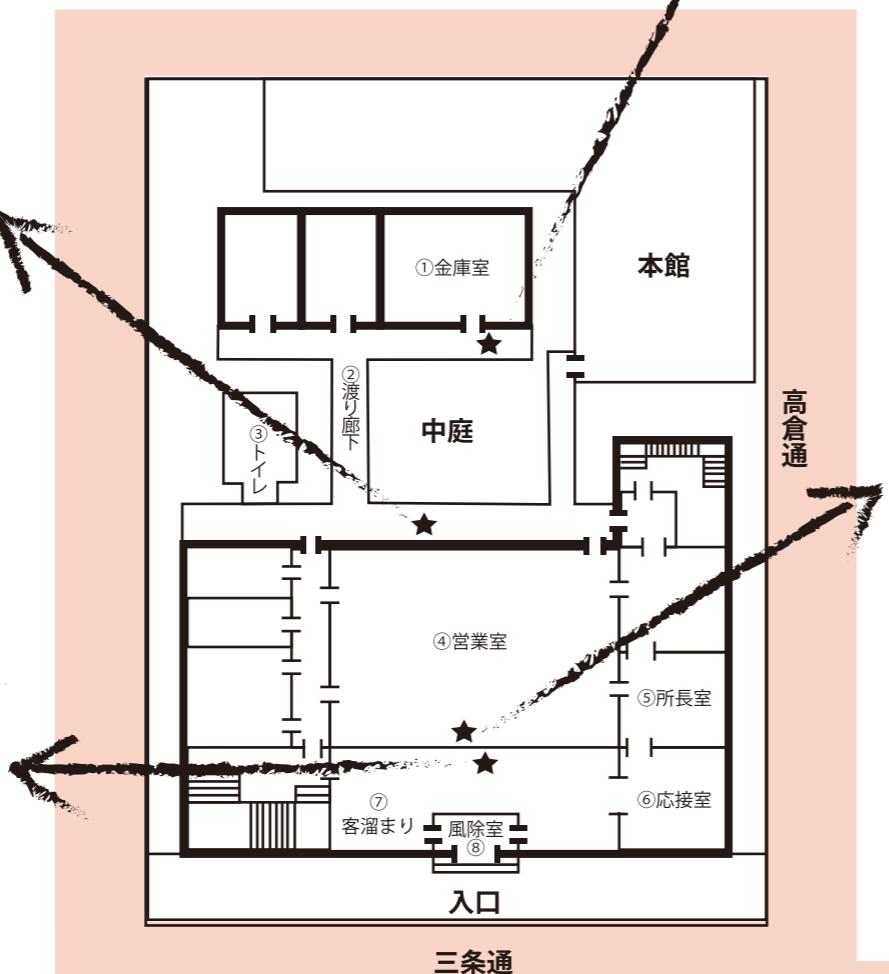


## 正解は・・・滑車と重り

滑車で重りを持ち上げたり降ろしたりして、窓を上げ下げする重さとのバランスを保っているよ。

お金や書類の出し入れをする場所なので、窓が落ちて手に怪我をしては大変です。途中で窓が落ちないような仕組みになっていましたので、実際に触ってみましょう。

模型が置いてあるので、ぜひ窓の仕組みを体験してね。



### ①金庫室 (きんこしつ)

たくさんのお金をしましておく金庫として使われていたんだ。屋根も壁もとっても分厚くて、ぜったい泥棒には入られないぞ～。

### ②渡り廊下 (わたりろうか)

この屋根のついた渡り廊下は、最初からあつたんだよ。きっと金庫室へは、ここを通ってお金を運んでいたんだな。

### ③トイレ

このトイレは、京都文化博物館ができるときにも新しく作られたものなんだ。でももともとのトイレもこの辺りにあったよ。

### ④営業室 (えいぎょうしつ)

大切なお客さんはここにすわっていたのかな？銀行員さんが仕事をしていたところ。何人ぐらいいたのだろう？

### ⑤所長室 (しょちょうしつ)

この銀行で一番えらい所長さんの部屋だよ。銀行にやってきたお客さんがいるところだよ。

### ⑥応接室 (おうせつしつ)

大切なお客さんはここにすわっていたのかな？

### ⑦客溜まり (きやくだまり)

扉から入ってきたら、まだ扉があるね。外からの寒うしい空気や風が、一度にたくさん入ってこないようにするためだよ。

### ⑧風除室 (ふうじょしつ)

- たとえば、釣りをしている人、行列に並ぶ人、舟に乗っている人、お供にお乳をあげるお母さん、弓矢を持った人、お坊さん、町民、お寺、神社、橋など。ほかにもたくさんあるね。
- ぎおん
- かわ (川)
- おに (鬼)
- ②、③、④。京都には井戸がたくさんあったからお水は甕 (かめ) にためなくてもよかったんだよ。
- ③
- ①
- さかや (酒屋)、おさけや (お酒屋)
- ②。平安京の大極殿という重要な建物の柱に使われていた礎石 (そせき) って言うんだよ。なんで石を敷くのかというと、柱を地面に直接さすとだんだん腐ってしまうからだよ。重さで沈んでしまわないように工夫したんだ！

## 何のマークかな？

喫茶店「前田珈琲」が入っている建物を見上げてみよう！屋根の上の鬼瓦に何かのマークが見えるよ！きっと一度は目にしたことあるマークだけわかるかな？



## 正解は・・・日本銀行の行章 (マーク)

前田珈琲がある建物はかつて日本銀行の金庫室だったため日本銀行のマークがデザインとして取り入れられています。日本銀行のマークはお札にも付されているので、皆さんも一度は目にしたことがあるはずですね！もっているお札にもこのマークが印刷されているので探してみてね。

## ここは何をする場所かな？

入口に入ると、飾りのついた柵のようなものが並んでいるよ。これは一体何をするところなのでしょうか？



## 正解は・・・銀行の窓口

ここは銀行の窓口として使われていたよ。現在は使用していないけれど、かつて銀行だった頃の窓口を再現していたよ。